

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2-①	子育て支援を充実する	健康・こども部、学校教育部、社会教育部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
保育園の待機児童数	人	0	0	32	34		0
放課後児童クラブの待機児童数	人	2	27	10	4		0
関連事業							
○民間保育所施設整備支援事業○特別保育拡充事業○地域子育て支援推進事業○ファミリーサポート事業○民間保育所助成事業○小児医療費助成事業○地域療育システム事業○放課後児童健全育成事業○母子保健事業○ブックスタート事業○吉沢地区地域交流・子育て支援拠点づくり推進事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費(千円)	2,628,247	1,750,670					
執行率(%)	94.21	94.59					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度完成に向けて、高村保育園増改築及び花水台保育園に替わる新園の整備支援や、市外から転入し、市内民間保育所へ就職した3名の保育士に対し、雇用する法人を通して貸し付けを行うことで、保育環境の向上を図りました。 ●特別保育及び病後児保育を実施し、子育て中の保護者のニーズに応えました。 ●平成29年4月から「港こども園」内につどいの広場「ぽけっと」を開設し、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場の充実を図りました。 ●地域の人たちが助け合い、一時的、臨時的に育児援助活動の支援をするファミリーサポート事業の実施により、仕事と育児の両立等子育てがしやすい環境づくりを推進しました。 ●中学卒業までの入院及び通院の医療費助成を行うことで、子どもの健全な育成と健康の増進を図りました。 ●子ども教育相談センターとこども発達支援室が連携して、指導主事と臨床心理士等専門職員による就学移行支援のための学校巡回相談を全小学校にて2回行いました。 ●利用児童数が増加した放課後児童クラブを分割し2クラブを増設するとともに、2クラブを小学校余裕教室を整備のうえ移設しました。 ●平成29年4月から子育て世代包括支援センター「ひらつかネウボラルームはぐくみ」を開設し、妊娠、出産から子育て期に至るまでの切れ目のない支援を行う体制を整えました。 							

●ボランティアとの協働により、図書館や保健センターの「7か月児相談」の会場等でブックスタートを68回実施し、赤ちゃんと保護者に「赤ちゃんと絵本を楽しむ時間の大切さを」伝えました。

●現吉沢公民館敷地内に公民館、認定こども園を整備するにあたり、庁内研究、地元説明を重ね、敷地測量を実施しました。

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●保育所施設の面では、老朽化や待機児童解消のため、状況に応じた的確な対応が必要です。また、運営の面では、教育や保育の質の向上による児童の処遇改善、保育士確保や保育士の就労環境の向上及び高まる保育需要に対応していく必要があります。</p> <p>●子育て中の保護者の急用やリフレッシュなど多様な保育希望に対応する必要があります。</p> <p>●ファミリーサポート事業において、支援会員数を増やすことが必要です。</p> <p>●親子や親同士の交流の場の重要性が高まっており、地域で行う子育て支援活動を推進する必要があります。</p> <p>●小児医療費助成について、効率的かつ安定的な制度運営を進め、子どもたちの健康増進を図る必要があります。</p> <p>●発達に課題のある子どもたちが適切な支援を受けられるよう、相談体制の充実や関係機関との「つなぎ」を強化する必要があります。</p>	<p>●定員拡大を伴う施設整備の支援を行うとともに、入所児童の安全、衛生面等の生活環境の改善のため、小規模修繕を実施します。また、保育所の自主的で柔軟な施設経営を促進し、入所児童の処遇向上と地域間の均衡の保持を図るために、民間保育所に運営費を助成します。さらに、届出保育施設に対し児童健康診断受診料等を助成します。</p> <p>●一時預かり、延長保育、病後児保育、休日保育を実施するため、保育士の確保や適正配置に努めます。</p> <p>●支援会員の研修等の充実とともに、積極的なPR活動を行うことにより、支援会員数を増やします。</p> <p>●子育て世代の増加傾向が顕著となっている、真田・北金目地区の子育て支援の充実を図るため、新たにつどいの広場を設置します。</p> <p>●医療費の増加抑制のための啓発を行うとともに、県内各市の制度改正の動向を注視しながら、中学校修了前までの子どもに対する医療費の助成を行います。</p> <p>●専門職・巡回相談員を増やすとともに、学校巡回やカンファレンスにおいて、支援の方向性を十分に共有し、学校を始めとする関係機関との共通理解を深めます。</p>

●各地区の学童保育に対するニーズの状況に基づき、分割等の手法による施設の充実及び利用児童の安心・安全を確保していく必要があります。

●「ひらつかネウボラルームはぐくみ」の相談者には、身近に近親者などがおらず孤立しやすい妊産婦や、メンタルヘルス不調に悩む妊産婦が多いため、これらの不安を軽減する必要があります。

●ブックスタートへの参加率が100%に近づくよう、さらに多くの市民に参加してもらうために、引き続きPRを行う必要があります。

●吉沢公民館の建て替えに向けて、早期整備に取り組む必要があります。

●利用児童の安心・安全な保育環境の確保のため、公的施設への移設を進めるとともに、利用児童数の増加等の動きを注視し、必要に応じて既存の放課後児童クラブの分割等を進めます。

●産後うつ対策として、孤立しやすい初産婦やメンタル不調者に対し、適切な支援を行うため、産後デイサービス、産後メンタルヘルス相談などの産後ケアに取り組みます。

●乳児への声かけの大切さ・効果などをわかりやすく示すなど、ブックスタート事業の趣旨や効果を具体的にPRするよう努めます。

●円滑な建設工事・造成工事に向けて、庁内や地元調整を重ねながら、基本設計・実施設計、地質調査を進めます。